

JAIA F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド DE1022シリーズ

ダイアボンドDE1022シリーズは、発泡スチロール（30倍以上）の接着用に開発されたノンホルムアルデヒド仕様の2液形常温硬化形エポキシ樹脂系接着剤です。（冬季使用タイプ硬化剤として、DE1022M及びDE1022Fがあります。）

§ 用途

建材関係パネルの接着組立て

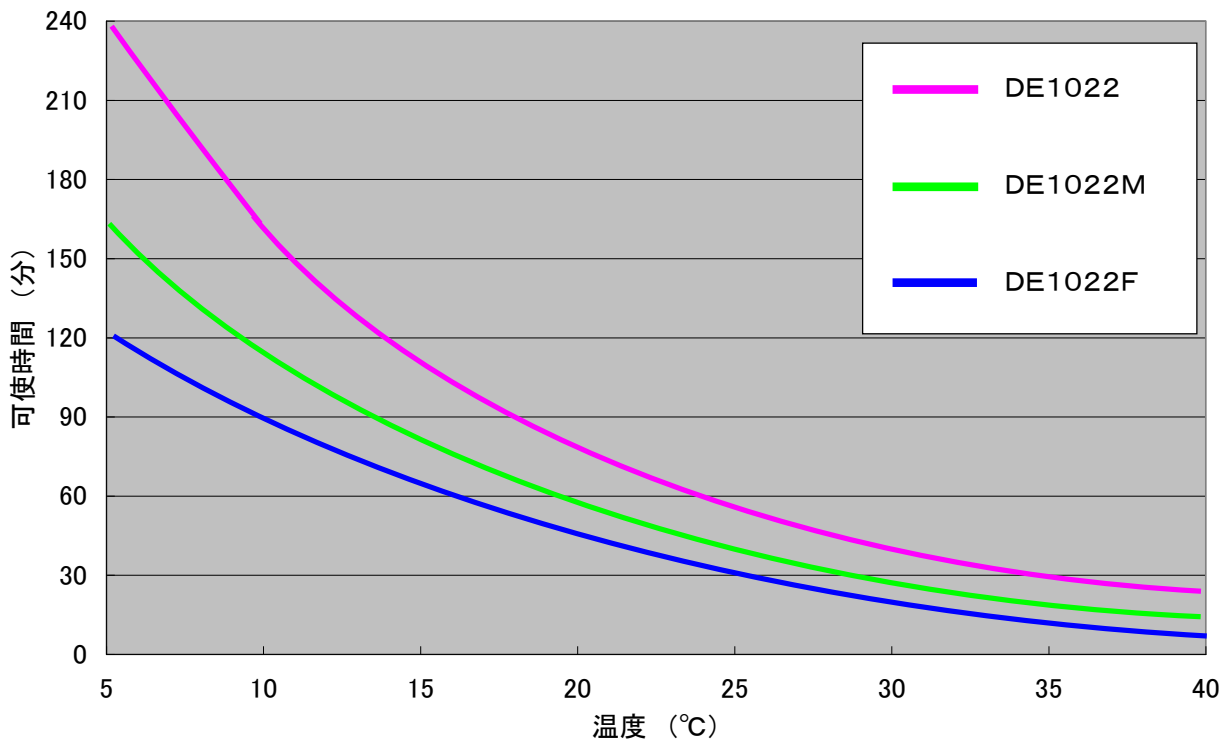
発泡スチロール／塗装アルミ板・塗装鋼板・合板・無機ボード等

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

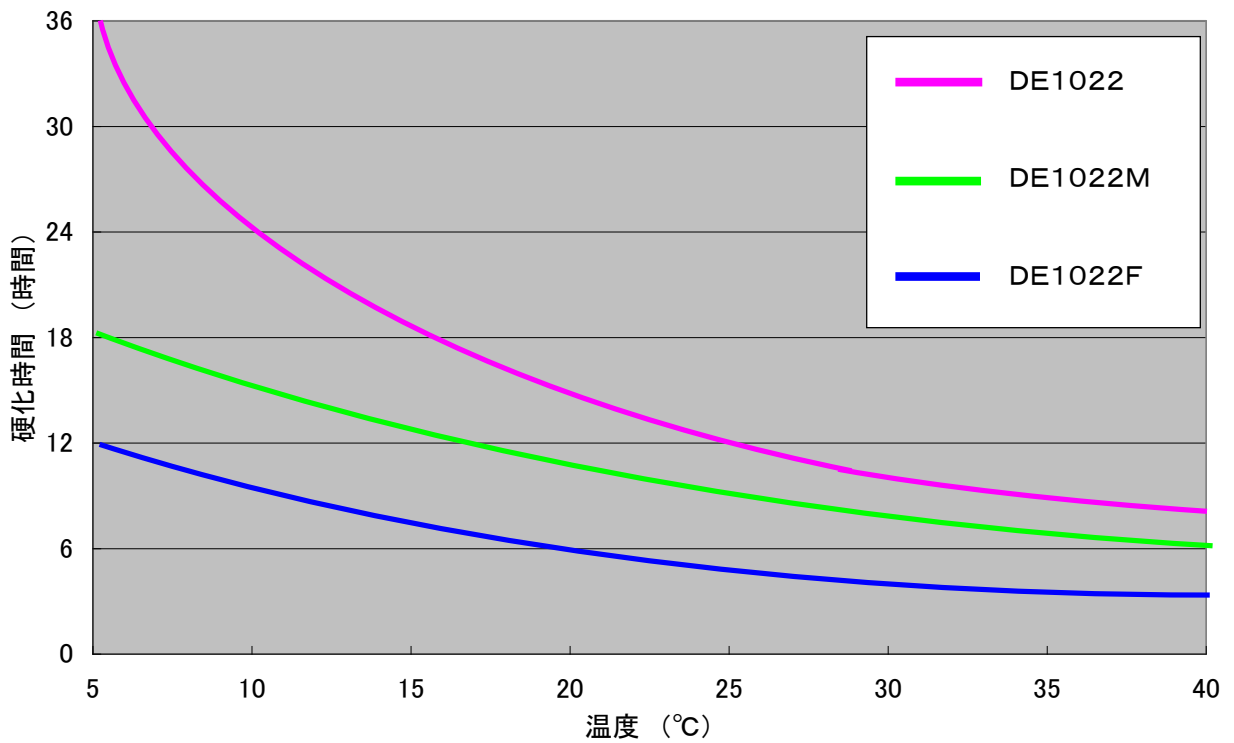
§ 一般性状

	DE1022 主 剤	DE1022 硬化剤	DE1022M 硬化剤	DE1022F 硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミド樹脂	ポリアミド樹脂	ポリアミド樹脂
外観	灰色	黄白色	黄白色	黄白色
不揮発分 (%)	100	100	100	100
粘度 (mPa・s) at20℃	3万～6万	1万～3万	1万～3万	1.5万～3万
保証期間 (月) at25℃	12	12	12	12
混合比 (重量)	主剤 対 硬化剤 = 100 対 100			
可使時間 (分) at20℃	—	60～80 [1kg 混合]	40～60 [1kg 混合]	30～40 [1kg 混合]
硬化時間 (時間) at20℃	—	14 ～ 16	10 ～ 12	6 ～ 8

§ 温度と可使用時間 (1 kg混合)



§ 養生温度と硬化時間



§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の錆やゴミ、水分、油汚れなどを除去し、清浄にしてください。  
アルミニウム板は貼合せる直前にサンディング処理 (#60 サンドペーパー相当) した後、アセトン等を浸した綿布で拭いて下さい。
2. 計量・混合 事前に主剤と硬化剤各々を、缶の底に沈降物がなくなるまで、十分に攪拌して下さい。  
混合比は、主剤：硬化剤=100：100（重量比）になるように、正確に秤量して下さい。  
攪拌混合は、主剤・硬化剤が均一になるまで、十分に行って下さい。  
可使用時間内に使い切れる量を混合し、夏季や高温時は可使用時間に十分注意して下さい。
3. 塗 布 混合後の接着剤を可使用時間以内に塗布して下さい。  
塗布方法：ロールコーター，ヘラ，クシゴテ 塗布量：300 ～ 400 g/m<sup>2</sup>
4. 貼り合わせ 直ちに貼り合わせて下さい。
5. 加圧・養生 プレス養生を行って下さい。プレス圧は、0.02 ～ 0.05 MPa を標準としますが、被着材に応じて決定して下さい。  
外気温 20℃以下では、DE1022M硬化剤を使用して下さい。  
外気温 10℃以下では、DE1022F硬化剤を使用して下さい。  
\* DE1022F硬化剤を使用しても、低温（5℃以下）の環境下では硬化はしますが、十分な物性が得られません。冬場の作業は作業場の温度調節や、局所加熱（ジェットヒーター等）で対応して下さい。

§ 接着性能

1. 引張りせん断接着強さ：JIS K 6850 準拠（引張り速度：50mm/分） 単位：MPa

	常 態 (96 時間)	耐 熱 (80℃)	耐 寒 (-20℃)
アルミ板相互	13.0 cf	3.5 af	13.7 cf
ステンレス板相互	12.5 cf	3.0 af	13.9 cf

測定条件

- ① 常態：常温において、接着強さを測定。
- ② 耐熱：80℃に20分静置後、その温度下で接着強さを測定。
- ③ 耐寒：-20℃に20分静置後、その温度下で接着強さを測定。

破壊状態：cf 接着剤の凝集破壊 af 被着材界面からのはく離

2. フラットワイズ引張り接着強さ（引張り速度：50mm/分） 単位：MPa

	常 態 (96 時間)	耐 熱 (80℃)	耐 寒 (-20℃)
塗装アルミ板/発泡スチロール	0.6 S*	0.5 S*	0.6 S*
ステンレス板/発泡スチロール	0.6 S*	0.5 S*	0.6 S*

測定条件

- ① 常態：常温において、接着強さを測定。
- ② 耐熱：80℃に20分静置後、その温度下で接着強さを測定。
- ③ 耐寒：-20℃に20分静置後、その温度下で接着強さを測定。

破壊状態：S\*発泡スチロールの破壊

## § 注意事項

- ・使用可能時間は、気温や混合量によって異なります。混合量は、 可使時間内に使い終える量にして下さい。
- ・保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・接着剤のはみ出し部は、硬化する前に取り除いて下さい。
- ・容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・使用器具の洗浄には、アセトンをご使用下さい。
- ・作業中は、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・取り扱い中は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクを付け、さらに頭巾、保護眼鏡、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋を着用して下さい。
- ・容器から出し入れする時は、こぼれないようにして下さい。容器からこぼれた場合には、布でふき取り、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行って下さい。
- ・作業着などに付着した場合には、その汚れを良く落として下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診断を受けて下さい。
- ・蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・接着剤を廃棄する場合は、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・指定された以外の材料と混合しないで下さい。
- ・本来の用途以外には使用しないで下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。